

## 前回会合後に各検討参加者よりいただいた意見

- 石原委員よりいただいた意見
- 川合委員ほかよりいただいた意見

## 石原委員からの意見(18日接受)

NTT 石原でございます。昨日の第3回プロジェクト会合でありましたコメント(至急の分)をお送りします。私の方からは特に重要度の高いコメントは有りませんが、思いつくところ以下のとおりです。

- 1) 最初の国家的・社会的要請の部分に『IT社会』というあるいはそれに関連する表現が無いのが気になります。
- 2) 会議でも申し上げましたが、重点領域の最初の項目『次世代半導体プロセス』というワーディングが、私には大変に狭く感じられます。半導体材料、半導体デバイス、記憶素子、ネットワークデバイスなどが含まれる感じが致しませんし、半導体製造に関連するデバイス開発、デバイスや回路の設計などいろんな技術分野が外れる印象を持ちます。一般の方々にその様に感じさせる心配が無ければこのままでも結構ですが、如何なものでしょう。ただ、あまり広い言葉(例えば半導体技術)ではぼんやりしすぎますし、例えば、『次世代半導体デバイスプロセス』位でしょうか？あまり良い案を思いつきません。
- 3) 最後の方で議論した研究現場の活性化に関する部分で、報告書に取り上げる程の問題では無いかもしれませんが、事務局に知っておいてもらいたい事項があります。『研究者が研究する時間を持てる環境を』と言うことです。会合でも、忙しい大学教授は研究する暇も無いというような事が出ていましたが、日本の研究現場では結構大きな問題です。以前、東大とMITの博士課程の学生が何に時間を使っているかという調査がありましたが、日本の大学の博士課程学生は研究する時間があまり取れないという実態が有ります。企業でも、研究者が研究をする時間を確保できないという問題を抱えています。これは、(金を使う、出張する、等々の事で)雑務が多い、研究現場にTechnical Engineer が居ない、計画書、報告書が多すぎるなど、研究のシステムと研究のマネジメントに関連する多くの問題を含んでいます。

以上、取り止めの無いコメントですが、よろしく申し上げます。

# ナノテクノロジーの分野とアウトプット

